

こだま新聞

第176号
平成22年6月

虫歯と歯肉炎

先月は八郎潟町の子供たちの虫歯が少なくなつたという話題をお話しましたが、一方で広がっているのが小学校高学年から多くなっている歯肉炎です。小学校は安東先生が歯科健診しているので状況は分かりませんが、中学生は八割くらいの生徒が歯肉炎になっています。中には歯石が歯の形が分からないくらい付着している生徒もいます。そこで、保健室の先生と相談して2年前から歯肉炎の実態調査をしています。

歯付近を調査しています。理由はほとんどの日本人は右利きで、右利きの人は右側の歯磨きが不十分な人が多いため、他の歯の状態もだいたい予想が付くため。

最初の年は検査に時間がどのくらいかかるのか検討が付きなかつたため、乱数表を使って5人に1人の割合で抽出した生徒の調査を行ってクラス別の健康状態を担任の先生に渡しました。

2年目(昨年)からは全員の調査をしています。理由は

調査時間が思ったほどかからなかつたことと、歯肉炎の状態が考えた以上に悪かつたこと。

昨年からは歯科健診の時に、本人に結果について説明しながら直接調査表を手渡しするようにしています。その結果、今年は歯石が付着している生徒がとてまもなく減りました。「効果があつたね」と保健室の先生と喜んでいきます。歯肉炎あるの生徒も少なくなつていると感じました。

結果を直接手渡ししているので昨年との比較はできませんが、効果をもう少しあげる工夫をしていきたいと思つています。校長先生から、「今年の秋にもう一度歯肉炎について講演してもらいたい」という要請が来ましたのでいい機会だと思つています。

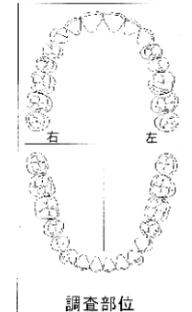
昨年引き続き、今年も5月29日に「駅からハイキング」が

駅からハイキング

八郎潟駅を起点に開始されました。参加者は約50人。駅

全部の歯をチエックすると学校で決められている時間内に終了できないので、右下の犬

2010年 八郎潟中学校 歯科健診



腫れ程度
出血しり
付着しり

1. 歯肉の腫れ程度
□□□□□□□□

2. 歯肉の出血しり
□□□□□□□□

3. 歯肉の付着しり
□□□□□□□□

あなたは今
健康 要指導 要治療

結果の評価について
1. 歯肉の腫れが軽度であれば指導、中程度以上は治療が必要
2. 歯肉の出血があれば治療が必要
3. 歯石の付着があつても歯肉の腫れが軽度で出血がなければ指導



前で結団式を行い、一路高岡コミュニティセンターへ。地元のお母様たちのアイユ入りの味



増汁を配られて昼食。4班に分かれて浦城跡へ散策に上りました。連日の雨で一部山道がぬかるんでおりましたが一人の怪我人もなく無事下山しました。秋田市のフォルクルオーレグループ「コンドルファイブ」の生演奏を聞きながら展望台で温かいお茶と「南秋つくし苑」のケーキをいただきながら八郎湖の歴史の説明を拝聴しました。

10月2日また開催されます。

6月

3日 保育園歯科健診

今月の行事

- 6日 八郎湖クリーンアップ
- 6日 町民運動会
- 10日 幼稚園歯科健診
- 11日 2歳児歯科健診
- 13日 おもしろ市場
- 16日 八小音読集会
- 20日 ロマンの里作業奉仕
- 20日 関東ふるさと会
- 25日 八P連協議会
- 27日 小型ポンプ操法競技